

第 235 号
ほほえみの会

2022.7.10

<2022.7.10 ほほえみの会 WEB 総会>

○24 人が参加しました。

○2021 年度活動報告、会計報告がされ役員は継続することで了承されました。

○こども病院最近の状況 こども病院副院長、血液腫瘍科長 渡邊健一郎医師

静岡県立こども病院は全国にある 15 の小児がん拠点病院。5F の病棟改修を行った。クリーンユニットスペースを作ったことと AYA 世代対応のラウンジを設置した。クリーンユニットは無菌室 2 床とクリーンルーム 4 床そして廊下、感染対策とリハビリを兼ねた。AYA ラウンジはオンラインで学習や同世代の集会や遊びができるような部屋とした。

また、院内で高等学校教育も受けられるように県の教育委員会にも申し入れを行い遠隔による単位認定も受けられるように働きかけている。

小児がん相談室では相談だけでなくイベントの企画も行っている。

さらに、こども病院内に県移行期医療センターを設け、県立総合病院には移行医療部を設けた。電子カルテの一元化をして成人になっても病院を移行して診てもらえる体制を作っていく。

マクドナルドハウスは来年度着工予定。完成すると運営はボランティアの皆さんにお願いすることになる。協力をお願いしたい。

○小児がん治療に関する最新情報 血液腫瘍科 緒方瑛人医師

小児がん医療ではこれまでの手術、放射線、化学治療に加え、がん免疫療法とがんゲノム療法が進んでいる。免疫療法ではキラーT 細胞や CAR-T 細胞療法で治療成績も高い。がんゲノム治療は標準治療のない希少な固形がんにも効果がある。遺伝子検査をして治療する。

○小児がん経験者のワクチン再接種 感染症科 荘司貴代先生

病原体には細菌とウイルスの 2 種類がある。細菌は好きな臓器があって分裂して増える。強くて繰り返し襲う。ウイルスはウイルスだけでは増殖しない。風邪の症状だけで 200 種類くらいある。コロナは持続しないタイプ。インフルエンザは型が多い。人間の体は免疫細胞の活躍で病原体から守られている。ワクチンを接種するとメモリーT 細胞が記憶していて本物が来た時に対処してくれる。

化学療法後は免疫が一時的に低下する。造血幹細胞移植をすると全ての免疫は喪失する。すべて打ち直しが必要。特に水疱瘡と肺炎球菌は最優先で接種が必要。水疱瘡は帯状疱疹になり日本では 20 人くらいが亡くなっている。治療が終えて学校に復学したときには注意が必要。おたふくは 1000 人に 1 人くらい難聴になり回復はしない。費用が掛かるが行政で助成をしてくれるので相談を。

子宮頸がんワクチン接種は再びキャンペーンが始まった。ヒトパピローマウイルスはだれでも一度は感染するものだがワクチンは安全確実な感染予防ルール。治療後に担当医から OK が出たらワクチン接種を再開してほしい。

○体験談 寺田知加さん 小学4年で急性リンパ性白血病

静岡がんセンターからこども病院に転院。治療中は口内炎もあり食べられない。薬も錠剤がのめなくて苦労しゼリーにしたりカプセルにしたりした。血管カテーテルを入れていたが感染症が起きて治療は中断した。こども病院に転院したときに元の学校に戻ることにした。学校は小、中、高一貫校で友達が同じでよかった。抗がん剤で髪も抜けていたが学校全体で配慮をしてくれた。治療後も視力が落ちたり、汗が止まらなくなったり、疲れやすかったりしたが今は回復している。

高卒認定のディプロマ試験を受けイギリスの大学に留学。大学は充実していたが21歳の時に骨密度を調べたら通常の67%で60歳以上だと言われた。その後医師の指導もありサプリメントなどで3年後には80%まで回復した。今は翻訳の仕事をフリーで在宅で行っている。

大人になってから病院に掛かる時には治療のサマリがあるといい。こども病院相談室で相談。またフォローアップ外来があるのでそちらを受診すれば適切な病院を紹介してくれる。

8月例会

8月14日(日) 10時-11時 WEB 開催

Zoom ミーティング

<https://us02web.zoom.us/j/82312672678?pwd=eDY1R1JRdmJXalRiSmF4NDA3dTBrUT09>

ミーティング ID: 823 1267 2678

パスコード: 424179

